

公開研究会『大学評価と青年期の発達保障を考える(2)』

## 青年・学生とともに育つ大学に問われるもの

大学評価学会は「青年の発達保障委員会」を設けて、「すべての人の権利としての大学教育」のあり方に関わる研究を行っています。

子ども期から成人期への移行が長期化・複雑化・多様化する現在、青年の発達は「困難さ」と「新しい可能性」の両方の様相を呈しているように思われますが、彼・彼女らとともに新しい可能性を開いていくことが、今、大学・学問に求められているのではないのでしょうか。

今回は春日井敏之先生（立命館大学）を講師に迎え、生きづらさを感じている青年たちに大学は何を問われているのか、彼・彼女らの発達を大学はどのように支えていけるのかという問題を考えたいと思います。

また、関西学生アルバイトユニオンの学生さんからご報告をいただきます。ブラックバイトの蔓延は、現在の日本社会の若者を育てる力の不十分さを反映していると思われます。そのような中で彼・彼女らが何を感じ、考え、自らと仲間達の権利を守るために活動しているのか。またそれらの経験を通じて大学をどのように考えているのか。彼・彼女らの報告からは是非学びたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

※「青年」という言葉がさす年齢は研究者・研究領域によって異なりますが、ここでは子ども期と成人期の間の10-20歳代をさして「青年」と呼んでいます。

【日時】2016年10月1日土曜 14:00～16:15

【場所】龍谷大学 梅田キャンパス

(〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階)

【アクセス】JR「大阪駅」桜橋出口より徒歩4分 (他にも経路有 下記URL参照)

[http://www.ryukoku.ac.jp/osaka\\_office/access/index.html](http://www.ryukoku.ac.jp/osaka_office/access/index.html)

### 【内容】

14:00～14:15 趣旨説明

14:15～15:05 講演:「社会とつながって自分を生きるための支援—青年期の序列化・孤立化と大学における学び」(春日井敏之教授・立命館大学)

15:05～15:30 報告:「ブラックバイトから考える私たちの学び」  
(堀詩織さん、関西学生アルバイトユニオン)

15:40～16:10 質疑・討論

【その他1】参加費は不要です。(当日参加も歓迎しますが、資料準備の都合がありますので、参加希望の方は下記連絡先までご一報くださると助かります)

連絡先: 西垣順子 (大阪市立大学)

メール [nishigaki@rdhe.osaka-cu.ac.jp](mailto:nishigaki@rdhe.osaka-cu.ac.jp)

FAX: 06-6605-2128



【その他 2】

本研究会は、大学評価学会（編）「シリーズ『大学評価を考える』第7巻 大学評価と『青年の発達保障』」（晃洋書房）の発行を記念して行います。本書は当日会場でも購入できます。